

平成29年度第2回富田林市入札等監視委員会（会議の概要）

1. 開催日時 平成29年8月22日（火）午前9時
2. 開催場所 富田林市役所 2階 201会議室
3. 議題
 - (1) 入札及び契約手続きの運用状況等について（平成29年4月～6月）
 - ①工事の発注状況について（報告）
 - (2) 発注工事（抽出事案）に対する説明及び審議（平成29年4月～6月の3ヶ月分）
 - ①（H29-農）南別井水中ポンプ突発改修工事
 - ②喜志駅地下自転車駐車場自転車等搬送コンベア改修工事
 - ③(29)甲田錦織処理分区低地汚水ポンプ設置工事
 - ④富田林市立小・中学校トイレ改修工事
 - ⑤平成29年度緊急掘削に伴う道路舗装復旧工事（年間単価契約）

【質問・意見等】

委員 案件①ですが、これはポンプ施設が損傷して、ポンプを入れ替えたという意味か。

担当課 はい。

委員 それは修理不可能であり、入れ替えるしかなかったという事か。

担当課 旧ポンプが10年以上前に設置されたものであり、専門業者に確認させたところそのまま使用する事は不可能という判断で、入れ替えた。

委員 普段のメンテナンスは、どの様に行っているのか。

担当課 半年に一度ぐらいは専門業者にて引抜き、状態確認とメンテナンスをして使用している。

委員 それでは、そのメンテナンスの後に壊れたという事か。

担当課 はい。

委員 本市の登録業者で、即時対応可能な業者を選定したという事だが、具体的に何社かの中から電話を掛けて行って即対応可能かを確認するという方法なのか。

担当課 この場合は、設置した会社の名板が操作盤に有りましたので、そちらが一番早く復旧できるのではないかとこの事で、契約検査課と相談し決定した。

委員 設置した会社を、選定しお願いしたという事ですね。

委員 案件②で、落札業者ですが、ここには最終的には決定しているのですが、この会社というのは当初の工事の施工業者なのか。

担当課 そうす。この自転車駐車場の設置は20数年前になるのですが、その時に設置した業者です。

委 員 実質的にはその業者にしか出来ない工事なのでしょうか。対応は可能だが、この業者がするのが最も安く出来ると考えられるという様な。

担当課 考えられるのかなとは思います。

委 員 府内の機械器具業者10社を選定したというのは、指名競争入札を考えたという事か。

事務局 はい。

委 員 そこでも、やはり他は辞退してしまわれたのか。

事務局 はい。

委 員 10社を選定したとありますが、連絡は文書か電話かどの様にしているのか。

事務局 指名競争入札はFAXで指名通知というものを送らせて頂いております。

委 員 これは、入札のどのくらい前に連絡されるのか。例えば極端な話ですが3日後に入札をしますと連絡しても、とても入札に対する準備、見積が出来ない、それでは意味が無いですよね。そういう意味で、入札のどれくらい前にされるのか。

事務局 今回ですと1週間前です。建設業法の中で業者に対し見積もりを依頼するときに必要な期間というのが定められており、その期間が今回の案件ですと5日間あれば良いとある。よって1週間期間を空けて入札を行った。

委 員 実際に、この様な工事が1週間で見積もりが出来るのか。当初工事をした業者であれば、自分のところがやった工事なのである程度分かるが、全くそれを行っていない所であればどうか。

事務局 コンベア等を施工したことが有る業者を選定させて頂いた。

委 員 入札の見積もり期間の根拠はどこにあるのか。

事務局 建設業法施行令第6条です。

委 員 落札した業者は、工事をメインとする様な会社なのか。それともコンベア自体を作っている機械業者という理解なのか。それから、工事が地下自転車駐車場をかなり改修する様な工事なのか、或いは機器の入替の様な工事なのか、それによって、先ほどの期間でも機器の入替だからすぐに見積もりが出る、かなり周辺の工事があれば期間が必要なのか分かんと思うので、もう少し詳しく教えてください。

担当課 機械を取り外して、新しい機械を取り付ける工事です。

委 員 モーターを強い物に変えて、原動機付きも運べる物にした。

担当課 原動機付きも対応出来る様に、モーターもコンベアも取外し新しい物を取り付けた。

委員 機能的にはほぼ同じだが、もう少し力の有る物にしたという事ですかね。
建築関係は全然触らないということですね。

担当課 そうです。

委員 1週間というのは少し短い様な気がします。ある程度余裕が有った方が、入札者も増えるのかなと。多忙時とかでは、積極的に関与して貰い難い入札事案なのでしょうが。

委員 案件③は条件付き一般競争入札を行って、指名競争入札でも同じく1社という事で、入札内容を見ると殆どゼロで、なぜこのような結果になるのですか。ポンプと言ってもそんなに特殊ではない様に思うが。

担当課 ファミリー圧送という方式を使わせて頂いております。これは、複数の家を複数のポンプで同じ管を使ってマンホールに圧送する装置です。下水道の本体工事をした時にその装置を入れているのですが、後から新たに下水道繋ぐとか、新たに家を建てるとかという事が出てきた時に、追加で行ったのが今回のポンプです。電気系統で電子制御の方で同時に複数の家の圧送機が働かない様にコントロールする様な仕組みを組んでいますので、その設計をこちらで組ませてもらっています。ですからその関係で、基盤の装置との関係が有るので単独でポンプを設置する工事では無く、やっぱり中身が分かっている業者に絞られてくる傾向というのが出てくる。

委員 確かに最初に作った業者以外は、なかなか入札し難い。

担当課 業者は違うが、ただ同じ製品を扱っている業者になってくるのは確かです。

委員 案件④のトイレ工事ですが、これは最低制限価格で落札なので談合とかの疑いは全く無いでしょうが、最低制限価格が90%というのは割と高いが、特殊な要因が有って価格が高く設定されたのか。

事務局 今年の4月からですが、最低制限価格の計算式の方を見直しさせて頂いた結果、この案件については、予定価格の90%となった。

委員 国の計算式に則って出した金額がこの金額という事か。

事務局 そういう事です。

委員 これは、3カ所纏めて発注しているのは従前の経過で中々落札が無いからだとは思うのだが、金額が3カ所合わせて5千万と金額的には非常に高い金額ですので、3つに分けても良かったのでは無いかなと思うが、その辺りはどうか。

事務局 予てからの1校ずつ出していた時は、1千5百万位で全く落札されないというのが何年も続いて、担当課の方でご苦労頂いて、纏めて出して頂いて昨年、一昨年あたりからようやく価格は高いながらも1回で落札されるようになってきた状況だと理解しております。今年については、最低制限価格を見直しさせて頂いたことも有りまして、最低制限価格での落札となりましたが、その入っている業者の中でも、最低制限で入れておられる方が全てでは無いという事は、やはり業者によっては、厳しい入札状況である事には変わりはないかなとは考えておりますので、元の様にはばらして1校ずつ1千5百万位の単位で出したら、果たして落札されるか懸念が有る所です。

委員 1年に何件くらい発注されるのか。

担当課 年に1回です。

委員 3カ所を1回、順番に改修していくというイメージか。

担当課 そうです。

委員 社会全体的にトイレが非常に綺麗になっていると思うのですが、小学校も綺麗になっているのか。

担当課 年次計画でさせて頂いております、学校の規模によって全てを一気には出来ませんので、それでもお褒めの方は聞いております。

事務局 1順回って、2順目ですね。

担当課 2順目です。

事務局 小中学校ございまして、小学校16校、中学校8校、順次毎年3校程度。

委員 回していくという感じですね、完全に水洗になっている訳ですね。

事務局 洋式化しています。

委員 案件⑤の年間単価契約ですが、落札金額が半額に近く低いのですが、それでも採算が取れると判断されているのでしょうか。この業者は舗装は得意なのか。

事務局 舗装と水道関係は得意でやっておられます。

委員 頻度は市の方で過去の実績などを見て、これ位という事が出されているのか。

担当課 はい。

委員 この頻度なのですが、予測と実績というのはずれるものなのか。ぴったりになるとはとても思えないのですが。

担当課 やはり多少はずれます。

委員 辞退と不参加の違いは何か。

事務局 辞退は、事前に辞退届出の書面を出して頂いている方、不参加・欠席というの

は何も連絡なく当日来られなかった方。

委員 その場合に、辞退と不参加の効果というのは何かあるのか。

事務局 我々指名する側として、辞退届を出された方につきましては、ペナルティとかを課さないですが、無断で欠席された方は、次回指名する際の選定の仕方としては考慮します。

委員 応札辞退と辞退とに分けられているのは何か。

事務局 応札辞退は入札室に入られて、札を入れられた札の中に辞退と書かれている。応札辞退は本市では成立させて頂いております。

委員 他に業者がいたという事が重要。

事務局 よって、競争力は働いている。

委員 それが応札辞退ということですね。応札したけれども辞退するという意味では無いのですね。

事務局 はい。

委員 他の辞退というのは、入札自体を辞退という事ですね。

事務局 はい。

委員 総括表の中の、平均落札率とあるが、分かり難いので対予定価格平均落札率に変えられないか。

事務局 次回より対応させていただきます。

4. その他

(1) 次回の開催日時について

(2) 議事録の署名委員と抽出委員の指名について

5. 出席者

委員 3名、工事関係課 10名、事務局 4名